

令和3年度尾張旭市介護保険特別会計

歳入歳出決算認定について

討論要旨 川村つよし議員

令和3年度は、第8期高齢者保健福祉計画の初年度に当たります。計画を立ててから最も時間が経過していない初年度であるため、計画からのずれは少なくなるのではないかと思います。コロナ禍の影響も否めず、計画からどれだけずれていると言ってよいのか、決算書を見ながら悩む数字が並んでおります。この年もコロナ禍の影響がある年だと例外的な年であったと記憶をしておかなければならない、そんな年となったと感じております。

そうした背景もありますが、介護給付費準備基金積立金を見ると、当初予算では基金の利息のみの予算計上だったものが、決算額では約1億3,600万円。6,000万円を取り崩す予定が、逆に年度末現在高が7,200万円ほど増加する結果となりました。

介護給付費準備基金の性格からいうと、3年間でなくなるように計算しているはずですが、次の事業計画でも保険料の値上げ抑制に使える資金を積み上げつつある状況だと指摘をし、反対討論といたします。計画どおりになっていないということも指摘をし、反対討論といたします。